

高等学校 令和7年度（5学年用）教科 地理歴史 科目 世界史探究

教科：地理歴史 科目：世界史探究 単位数：4 単位

対象学年組：第5学年 A組～D組

使用教科書：（山川出版社『詳説世界史』）

教科 地理歴史 の目標：

【知識及び技能】

世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して消費される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 世界史探究 の目標：

Table with 3 columns: 【知識及び技能】、【思考力、判断力、表現力等】、【学びに向かう力、人間性等】. Each column contains detailed learning objectives for the subject.

Main curriculum table with columns: 単元の具体的な指導目標, 指導項目・内容, 評価規準, 知, 思, 態, 配当 時数. It details the 1-year course structure, including Unit 1 (World History Overview) and Unit 2 (Regional History).

2 学 期	<p>第Ⅲ部 諸地域の結合・変容</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 産業革命と環大西洋革命、自由主義とナショナリズム、南北戦争の展開などを基に、国民国家と近代民主主義社会の形成を構造的に理解する。 国際的な分業体制と労働力の移動、イギリスを中心とした自由貿易体制、アジア諸国の植民地化と諸改革などを基に、世界市場の形成とアジア諸国の変容を構造的に理解する。 第2次産業革命と帝国主義諸国の抗争、アジア諸国の変革などを基に、世界分割の進展とナショナリズムの高まりを構造的に理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 大西洋両岸諸地域の動向に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、労働力の移動を促す要因、イギリスの覇権の特徴、アジア諸国の変容の地域的な特徴などを多面的・多角的に考察し、表現する。 世界市場の形成とアジア諸国の動向に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、労働力の移動を促す要因、イギリスの覇権の特徴、アジア諸国の変容の地域的な特徴などを多面的・多角的に考察し、表現する。 列強の対外進出とアジア・アフリカの動向に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、世界経済の構造的な変化、列強の帝国主義政策の共通点と相違点、アジア諸国のナショナリズムの特徴などを多面的・多角的に考察し、表現する。 <p>定期考査</p>	<ul style="list-style-type: none"> 産業革命 アメリカ合衆国の独立と発展 フランス革命とナポレオンの支配 中南米諸国の独立 ウィーン体制とヨーロッパの政治・社会の変動 列強体制の動揺とヨーロッパの再編成 アメリカ合衆国の発展 19世紀欧米文化の展開と市民文化の繁栄 西アジア地域の変容 南アジア・東南アジアの植民地化 東アジアの激動 第2次産業革命と帝国主義 列強の世界分割と列強体制の二分化 アジア諸国の変革と民族運動 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 産業革命が18世紀後半のイギリスから始まった背景や技術革新の展開、アメリカ合衆国の独立の歴史的経緯、フランス革命が起こった要因やナポレオンが台頭した背景、中南米諸国の独立の経緯を理解している。 19世紀のヨーロッパ情勢の推移を、ウィーン体制や1848年革命、さまざまな主義主張の特徴、時代的な背景や各国の共通点・相違点もふまえて理解している。 南北戦争につながったアメリカ合衆国内の対立構造やその後の展開を理解している。 南アジア諸国における動揺や改革の推移を、ヨーロッパ列強との関係ともあわせて理解している。 ヨーロッパ各国による南アジアと東南アジアの植民地化の経緯を理解している。 第2次産業革命が社会に与えた影響や帝国主義時代の欧米列強の国内情勢、列強による世界分割や列強体制の変化について理解している。 アジア各地における改革や民族運動がどのように展開し、いかなる結果をもたらしたのかを理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 資料をもとに、産業革命が社会に与えた影響、アメリカ合衆国独立の独自性、フランス革命において「国民」を主役とする社会が創出されたことについて、考察し表現している。 中南米諸国が短期間に多くの独立が達成された要因を考察し表現している。 ウィーン会議がヨーロッパ各地の人々に与えた影響を考察し表現している。 地固などをとらえ、19世紀後半にヨーロッパの再編成が進んだ背景を考察し表現している。 アメリカ合衆国の急速な発展の要因を考察し表現している。 アジア各地での変化や改革について考察し表現している。 ヨーロッパ各国の進出の経緯をふまえて、列強による世界分割が各地に与えた影響を考察し表現している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> イギリス産業革命、アメリカ合衆国の独立、フランス革命とナポレオン、中南米諸国の独立、ウィーン体制、19世紀後半のヨーロッパの再編成、アメリカ合衆国の発展、19世紀欧米の文化、西アジアの変容、南アジア・東南アジアの植民地化、東アジアの激動、第2次産業革命と帝国主義、列強の世界分割、アジア諸国の変革と民族運動について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出し、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 	○	○	○	34
	<p>第Ⅲ部 諸地域の結合・変容</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 第一次世界大戦とロシア革命、ヴェルサイユ・ワシントン体制の形成、アメリカ合衆国の台頭、アジア・アフリカの動向とナショナリズムなどを基に、第一次世界大戦の展開と諸地域の結合を構造的に理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 第一次世界大戦と大戦後の諸地域の動向に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、第一次世界大戦後の国際協調主義の性格、アメリカ合衆国の台頭の要因、アジア・アフリカのナショナリズムの性格などを多面的・多角的に考察し、表現する。 <p>定期考査</p>	<ul style="list-style-type: none"> 第一次世界大戦とロシア革命 ヴェルサイユ体制下の欧米諸国 アジア・アフリカ地域の民族運動 世界恐慌とヴェルサイユ体制の崩壊 第二次世界大戦 新しい国際秩序の形成 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 第一次世界大戦とロシア革命の展開を、戦時外交や総力戦の特徴、大戦のもたらした結果などとあわせて理解している。 第一次世界大戦後に形成された国際秩序の内容やその特徴、その後の国際関係の変化、アジア・アフリカの各地に与えた影響を理解する。 世界恐慌が国際関係に与えた影響や各国の対応策、およびヴェルサイユ体制の崩壊にいたる経緯やファシズム諸国・日本の動きについて理解する。 第二次世界大戦の対立の構図と勃発から終戦までの経緯、戦後に形成された国際秩序の特徴を、それ以前との相違点をふまえて理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 資料をもとに、第一次世界大戦とロシア革命が世界にもたらした変容、1920年代の欧米各国における変容、世界恐慌下の各国における変容、ファシズム諸国や日本の動きについて、考察し表現している。 アジア・アフリカ各地の民族運動の特徴や共通性を考察し表現している。 第二次世界大戦の特徴、戦後国際秩序下の各国における変容を考察し表現している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 第一次世界大戦とロシア革命、ヴェルサイユ体制下の欧米諸国、アジア・アフリカ地域の民族運動、世界恐慌やヴェルサイユ体制の崩壊、第二次世界大戦と戦後の国際秩序について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出し、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 	○	○	○	17
	<p>第3部</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 集団安全保障と冷戦の展開、アジア・アフリカ諸国の独立と地域連携の動き、平和共存と多極化の進展、冷戦の終結と地域紛争の頻発などを基に、紛争解決の取組と課題を理解する。 先進国の経済成長と南北問題、アメリカ合衆国の覇権の動揺、資源ナショナリズムの動きと産業構造の転換、アジア・ラテンアメリカ諸国の経済成長と南南問題、経済のグローバル化などを基に、格差是正の取組と課題を理解する。 原子力の利用や宇宙探査などの科学技術、医療技術・バイオテクノロジーと生命倫理、人工知能と労働の在り方の変容、情報通信技術の発達と知識の普及などを基に、知識基盤社会の展開と課題を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 国際機構の形成と紛争に関わる諸事象の歴史的背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、国際連盟と国際連合との共通点と相違点、冷戦下の紛争解決と冷戦後の紛争解決との共通点と相違点、紛争と経済や社会の変化との関連性などを多面的・多角的に考察し、表現する。 国際競争の展開と経済格差に関わる諸事象の歴史的背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、先進国による経済援助や経済の成長が見られた地域の特徴、諸地域間の経済格差や各国内の経済格差の特徴、経済格差と政治や社会の変化との関連性などを多面的・多角的に考察し、表現する。 科学技術の高度化と知識基盤社会に関わる諸事象の歴史的背景や原因、結果や影響、事象相互の関連などに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、現代の科学技術や文化の歴史的な特色、第二次世界大戦後の科学技術の高度化と政治・経済・社会の変化との関連性などを多面的・多角的に考察し、表現する。 <p>定期考査</p>	<ul style="list-style-type: none"> 冷戦の展開 第三世界の台頭とキューバ危機 冷戦体制の動揺 産業構造の変容 冷戦の終結 今日の世界 現代文明の諸相 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 冷戦の進展を、各国の社会に与えた影響や核開発の動き、第三世界の台頭、キューバ危機を経て国際社会が核兵器の制限にどのように取り組んだのかを理解している。 1960年代以降の冷戦体制の動揺やその推移を、米ソの代理戦争としての視点や各国における変化をふまえて理解している。 1960～1980年代の各国の経済や社会の状況を、経済構造の変化をふまえて理解している。 冷戦がどのような過程をたどって終結したのかを理解している。 冷戦終結後の各地の状況や地域・民族紛争、経済における世界の一体化について、国際情勢をふまえたうえで理解している。 現代思想・文化の特徴をそれまでの文化・思想と比較したうえで理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 冷戦下における東西両陣営の社会の変容、キューバ革命が国際社会に与えた影響、冷戦の動揺が各地にもたらした影響、オイルショックが世界の社会と経済に与えた影響を考察し表現している。 1990年前後のさまざまな出来事と東西対立緩和の関係を考察し表現している。 今日の世界が抱えている課題の特徴や傾向を考察し表現している。 芸術作品を示した図像資料などをとらえ、人々の世界観や生活のありようの変化を考察し表現している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 冷戦の展開、第三世界の台頭とキューバ危機、冷戦体制の動揺、オイルショックとその影響、冷戦の終結、今日の世界が抱えている課題、現代文明の諸相について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出し、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 	○	○	○	17
			○	○	○	1	
						合計	
						140	